

## 本会議における 議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ20名の議員が質疑を行いました。

【インターネット録画放送】

川越市議会ホームページで  
ご覧になれます。

【今定例会の会議録】

図書館等、議会ホームページで  
2月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】

図書館／市民センター／議会事  
務局／情報公開窓口（東庁舎）

## 議案第77号 り災救助基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止条例

【日本共産党】

**問過去の基金使用実績は。**

【答昭和39年の基金設置から、これまで基金を処分した実績はなかった。

**問なぜ基金廃止するのか。**

【答基金規模等の状況もあり、資金が十分に活用されている状況になかった。このため、積立基金の総合的な見直しにより、一定の基金規模を有し、災害対策全般の財源として活用できる財政調整基金にり災救助基金の役割を

担わせるため、り災救助基金を廃止するものである。

**問り災救助基金の廃止で、災害時の救助への支障は。**

【答基金が廃止されることにより、市の災害対策そのものが変わるものではなく、災害対策に係る経費の財源が変わるものである。このため、り災救助基金の廃止による、り災救助に支障はないものと考えている。

## 議案第78号 公共施設マネジメント基金条例

【やまぶき会】【自由民主党】【日本共産党】

**問基金設置の理由は何が。**

【答老朽化が進行する公共施設の更新需要を見据え、保全や更新を計画的に進めていくための財源を安定的に確保するとともに、財政負担の平準化を図るために設置するものである。

**問新規の公共施設整備の財源をどう考えるのか。**

【答これまでの施設整備と同様の考え方に基つき、国庫補助や地方債の活用を図ることはもとより、事業によってはPFIなどの民間活力の導入を進めることや当基金を活用することを含め、効果的な財源の確保を図る。

**問積立額について、どのように考えているか。**

【答厳しい財政状況においても、一定額を積み立て、公共施設の保全や更新に必要な費用の一部を準備していきたい。

**問基金の使い方は。**

【答当面は、平成34年度から増加し集中する保全や更新に備えるものだが、個別施設計画策定後は、当該計画に沿った基金の活用を考えている。

**問基金を活用していく上で今後の課題は。**

【答公共施設の老朽化への対応に係る費用を基金の財源のみで確保することは非常に困難である。施設総量の適正化や長寿命化などの取り組みの中で、今後必要となる費用の軽減を図りつつ、効率的で効果的な基金の活用が必要になると考えている。

**問公共施設の更新費用の算出基準は誰が決めたか。**

【答川越市公共施設等総合管理計画で試算に用いた更新単価は、総務省が平成23年度に行った公共施設やインフラ資産に係る将来の更新費用の調査に

用いた単価を採用したものである。  
**問更新費用が将来変化した時どう見直すつもりか。**  
【答現状において具体的に更新費用を把握すること

## 議案第81号 減債基金条例

【やまぶき会】【自由民主党】【日本共産党】

**問基金設置の理由は何が。**

【答川越市中長期財政計画を基礎とした公債費の見通しによると、平成28年度予算で約95億円の公債費は、平成34年度には122億円に達すると見込まれている。

**問来年度以降の減債基金の原資は何を想定しているのか。**

【答今後の基金積立金の原資も、主に決算剰余金等の活用を想定している。

**問基金の処分による公債費の調整はどう図るのか。**

【答中期財政計画による公債費の推計額は、各年度の投資的経費や臨時財政対策債の見直しにより算出している。減債基金の処分が公債費の推計額に影響を及ぼすものではな